

令和 6 年度 第 3 回刈谷市国民健康保険運営協議会 会議録			
日 時	令和 7 年 2 月 3 日（月） 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 0 0 分	場 所	刈谷市役所 5 階 5 0 2 会議室
出 席 者	・被保険者を代表する委員 稲垣和久委員、中野カズヨ委員、清水榮里子委員、加藤裕子委員 ・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 富安斉委員、宮田泰委員、中川義之委員 ・公益を代表する委員 外山鉦一委員、揚張慎一委員、稲垣雅弘委員 ・被用者保険等保険者を代表する委員 西尾央委員、土手新吾委員 ・当局出席者 稲垣市長、加藤福祉健康部長、杉浦福祉健康部政策監、 酒井国保年金課長、二宮課長補佐、大橋係長 大田主事		
欠 席 者	・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 辻村享委員 ・公益を代表する委員 近藤澄男委員		
討議内容			
議題（１）「税率改正について」 事務局から資料に基づき説明を行い、議題について委員の了承を得た。			
議題（２）「令和 7 年度国民健康保険事業計画（案）について」、議題（３）「令和 7 年度国民健康保険特別会計当初予算（案）について」を事務局から資料に基づき説明を行い、次のとおり、委員の質問に対し事務局が説明した。また、議題について委員の了承を得た。			
質 問：特定健康診査および特定保健指導の実施率向上を図るための取組として、令和 7 年度から新たに計画している事業はあるのか。			
説 明：令和 7 年度から新たに実施する事業はなく、令和 6 年度から行っている事業を継続していく予定である。			
意 見：刈谷市の特定保健指導の実施率は他の市町村と比べると著しく低いため、現在行っている事業を振り返り、実施率向上のための取組をぜひ考えていただきたい。			
質 問：令和 7 年度当初予算案について、歳出項目の保険給付費のうち、高額			

療養費については前年度より増額した根拠、および出産育児一時金と葬祭費については、減額した根拠をお示しいただきたい。

説 明：高額療養費の増額については、3月にも補正予算を計上するなど、令和6年度の実績が増加しているため、それらの伸び率を勘案し見込みを立てている。また、出産育児一時金と葬祭費についても、今年度の実績の推移をもとに減額している。

質 問：高額療養費については令和7年度の制度改正により限度額の引き上げが予定されているが、予算にはそれらの影響が加味されているのか。

説 明：高額療養費については令和7年度から3か年かけて段階的な限度額の引き上げが予定されており、令和7年度は現行の所得区分のまま限度額を引き上げ、令和8年度から令和9年度にかけては所得区分を細分化したうえで、さらに限度額が引き上げられる予定である。国からの方針が示されたのが、遅かったため、当初予算には反映していない。

質 問：刈谷市のマイナ保険証の登録率は現在どれくらいか。資格確認書の発行を減らすために、我々健康保険組合もマイナ保険証の利用率向上を図るための様々な対策を講じているが、実際伸び悩んでいるのが現状である。国が進めるDXの一つであるため今後、さらなる対策が必要であると感じている。

回 答：刈谷市国民健康保険のマイナ保険証の登録率は令和6年12月時点で64.69%、利用率については令和6年11月時点で23.50%、全国平均利用率は23.21%となっている。12月2日以降保険証の新規発行終了に伴い、利用率および登録率は若干上昇したが、今後もマイナ保険証の利便性を感じていただくために周知を図り、また、丁寧に説明することで利用に対する不安感を払拭し、マイナ保険証の利用率を高め、資格確認書の交付を減らしていきたい。

最後に来年度の予定等を説明し、終了した。